

チョウを育てよう

3年	昆虫やいもむしが嫌いな子どものためにも
	「一人ずつの飼育と観察」のための準備

小さな容器で数匹の幼虫を飼育することによって、幼虫の大きさや糞の量の変化、脱皮の抜け殻など、細かなところまで観察することができます。また、昆虫を苦手としている子どもにとっても一人ずつの飼育と観察は有効であり、ぜひ実施して欲しい方法です。



1 準備

- ・キャベツ苗
- ・直径9cmの透明なプラスチック容器
(100ヶ入り¥1000程度) 人数分+予備
- ・キッチンペーパー(濡れても破けないもの) ・針(穴開け)

2 キャベツの準備

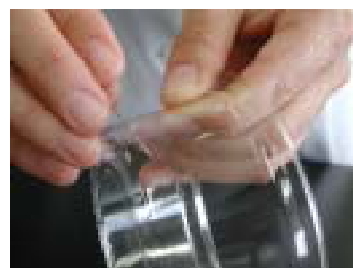
4月上旬・・・飼育のための餌や野外での観察のためにキャベツ苗を畑へ植える。

4月中旬・・・黒ポットへのキャベツの種まき(人工産卵用)

市販の苗は防虫剤が入っている場合があるので注意が必要です。

3 飼育容器の準備

- ・透明なプラスチック容器の側面に針で空気穴を10ヶ所程度開ける。(3枚重ねて行くと早くできる)
- ・ふたは後で観察に使用するので、名前などは側面に書かせる。
このサイズだと終齢幼虫2~3匹の幼虫の飼育が可能。
重ね置きもでき、土日は持ち帰らせることも可能。



4 キッチンペーパーの準備

- ・容器の底に入る程度の大きさに切る。子ども一人8枚程度必要。
餌のキャベツの乾燥を防いだり、容器の清掃を簡単に行うために、右の写真のように飼育容器の底に少し湿らせたキッチンペーパーを置いて飼育を行う。餌換えや容器の掃除の度に新しいものと換える。



昆虫が嫌いな子ども、でも・・・

「成虫まで飼育できたけど、観察は嫌いだったし、もっと他のこん虫や生きものを育てたり観察してみたいとぜんぜん思わない」とアンケートに答えた子どもの感想です。

私はちょうがきらいだけど、あおむし・ちょうを育ててみて
「すごいなあ。どうしてこんななるんだろう？」と思ってたら、好きになりました。